やすらぎ

京都市立病院
広報誌

2016
春

西院春日神社（右京区）

―臨時特集―

平成28年熊本地震
京都市立病院DMAT出動

◆前立腺がん、腎がんの治療
～最先端技術で患者さんに負担の少ない治療を～

◆入院支援センターのご紹介

◆『腫瘍内科』オープン！

地方独立行政法人 京都市立病院機構
京都市立病院

臨時特集

平成28年熊本地震
京都市立病院DMAT出動

4月14日（木）

21時26分	**熊本県熊本地方を震源とする最大震度7の地震が発生** DMAT待機開始

4月16日（土）

1時25分	**熊本県熊本地方を震源とする最大震度6強の地震が発生**
3時14分	DMAT出動準備
8時30分	京都市立病院内に本部を開設
11時00分	DMAT派遣指示
11時33分	出動

4月17日（日）

8時00分	熊本第一赤十字病院に到着 会議等で情報共有を行う

4月18日（月）

7時00分	くまもと森都病院に到着
8時00分	診療支援活動開始 43名の患者さんの診療を行い、うち36名をDMATに指揮命令し、被災地域外の医療機関へ適切な搬送を行った。
16時00分	活動終了

4月19日（火）

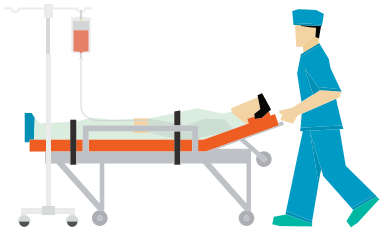
18時30分	京都市立病院に帰還

DMATとは　災害派遣医療チーム（Disaster Medical Assistance Team）の頭文字をとってDMATと呼ばれています。医師、看護師、業務調整員（事務職など）で構成され、大規模災害や多傷病者が発生した事故現場で活動します。災害拠点病院である京都市立病院ではDMAT隊を組織しており、これまで東日本大震災時などにおいて活動してきました。

4月16日、DMAT京都府調整本部の第一赤十字病院からの派遣指示を受け、京都市立病院DMAT（災害派遣医療チーム）1隊5名（医師1名、看護師2名、事務方2名）を熊本へ派遣しました。

現地では、断続的に余震が続く中、2病棟のうち1病棟の機能が停止した「くまもと森都総合病院」において全国から参集したDMAT隊と連携し、緊急治療や病院支援、被災地域外の医療機関への搬送など、診療支援を行いました。

4/16（土） 出動

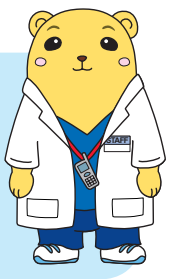


4/18（月） 支援活動

4/19（火） 帰還

市立病院長に活動報告を行いました。

市立病院では引き続き熊本地震の経過を見守り、今後も継続的な支援を行います。



前立腺がん、腎がんの治療 ～最先

近年画期的な手術法として注目されている手術支援ロボット「ダヴィンチ」、まず泌尿器科の分野において平成24年に「前立腺がん」への保険適用が認められ、平成28年4月からは「腎がん」についても保険適用となりました。当院ではこの手術支援ロボットを用いた手術も積極的に実施しています。

泌尿器科部長
清川 岳彦

泌尿器科のご紹介

尿に関連した臓器（腎臓、尿管、膀胱、尿道）と男性生殖器（陰茎、前立腺、精巣）の病気を主として扱う科です。なんとなく男性の診療科…という印象をお持ちのかたもおられるかと思いますが、もちろん女性が罹る病気もあります。

当院の泌尿器科では、腎がん、副腎がん、腎盂（じんう）がん、尿管がん、膀胱がん、尿道がん、前立腺がん、精巣がん、陰茎がんなどを代表とし、前立腺肥大症、尿路結石症、骨盤内臓器脱、尿失禁、尿路感染症、排尿機能障害などを含めた泌尿器科疾患を幅広く取り扱っています。

平成26年がん罹患数予測　男性1位※

「前立腺がん」

※出典「国立がん研究センターがん情報サービス『がん登録・統計』」

前立腺は男性だけにある臓器で、膀胱の下・直腸の前にあります。前立腺がんは、この前立腺の細胞が無秩序に増殖する病気です。

症　状

初期には特徴的な症状が全くありません。ただ、同時に前立腺肥大症が存在すればその症状（尿が出にくい、夜間にトイレに立つ回数が多いなど）がみられます。進行すると、血尿や骨への転移による腰痛などがみられるようになります。

治　療

前立腺がんの健診の普及に伴って、根治治療が可能な初期の段階で診断される患者さんが著しく増加しています。そのため、前立腺がんの治療は、根治することを大前提にしたうえで、患者さんの負担を少なく、合併症を起こさないことが大切です。

当院では、最先端技術を駆使して治療を行っており、なかでも手術療法については、平成24年にいち早く腹腔鏡による摘出手術を取り入れました。これは、従来の開腹手術より細かな手術が可能で、手術跡もごくわずかで済みます。さらに、平成25年には、手術支援ロボット「ダヴィンチ」が導入され、さらに精度が高く患者さんの負担が少ない手術ができるようになりました。

実　績

●前立腺全摘除術

	27年度	26年度	25年度
ロボット支援	53	66	45
腹　腔　鏡	0	0	12

早期に発見すれば、高い確率で根治できます。50歳を過ぎたら、血液検査で手軽に受けられるPSA（前立腺特異抗原）検査がおすすめです。

端技術で患者さんに負担の少ない治療を～

平成28年4月 手術支援ロボットでの手術が保険適用開始

「腎がん」

腎臓は腰の高さに左右ひとつずつあり、血液中の老廃物をろ過し、尿を作って体の外に排出するという非常に重要な働きをしています。腎がんは、この腎臓の細胞が無秩序に増殖する病気です。

症　状

初期には症状がないことがほとんどですが、進行すると腰痛や血尿が見られるようになります。さらに進行すると、発熱、貧血、食欲不振、体重減少などの全身症状が現れます。

治　療

健康診断や人間ドックでの超音波検査などで腎がんが早期発見されることが増えてきました。それに伴い、完全に治すことと治療後の腎機能を残存させることのバランスをとることが腎がんの治療において非常に重要となっています。早期の腎がんではがんの部分のみを摘出する腎部分切除術という難しい手術が理想です。

当院では、早くから、腹腔鏡や手術支援ロボットを活用した腎部分切除術を積極的に行っており、傷口が小さい、精密な手術により、患者さんの負担を軽減しつつ、根治性と腎機能温存を両立させています。片方の腎臓をすべて摘出する必要がある場合でも、ほとんどの患者さんで負担の少ない腹腔鏡手術が可能です。

また、診断時に転移がみられる進行したがん、再発したがんなどには、分子標的療法という最新の薬による治療も積極的に行っており、外来通院で日常の生活を送りながら治療ができます。

実　績

●腎部分切除術

	27年度	26年度	25年度
ロボット支援	13	10	0
腹　腔　鏡	3	7	4
開　　腹	2	0	1

●腎全摘除術

	27年度	26年度	25年度
腹　腔　鏡	15	12	19
開　　腹	3	1	1

ロボット支援手術とは、

ロボットのカメラが映し出す立体的で高画質な拡大3D映像を見ながら、外科医が遠隔操作で腹腔鏡ロボットを操る画期的な手術です。このロボットは『ダヴィンチ』と呼ばれ、人の手よりも多くの関節を持ち、手ぶれも抑えられるため、動きはスムーズで通常では手が届きにくいところまで届きます。その結果、患者さんにとっては、負担が少なく、合併症も起こりにくい手術が可能となるのです。

入院支援センターのご紹介

市立病院では平成27年10月に入院支援センターを立ち上げました。
入院前に患者さんの身体的、社会的、心理的問題を把握し、患者さんやご家族が安心して入院し、安全に治療や検査が受けられるように、各部門と連携を取りながらサポートしています。

場 所：本館１階　1Cブロック
時 間：月曜日～金曜日 8:30～17:15　土日祝・年末年始は休業

入院が決まったら、入院支援センター にお越しいただきます。

入院支援センターの業務内容

1. 手術・検査・治療等の同意書の確認
2. 入院前の検査の説明や検査予約の確認
3. 入院から退院までの検査や治療・処置など入院診療計画（クリニカルパス）を用いて説明
4. 入院日・時間の確認と必要物品等の説明
5. 患者さんの基本情報（日常生活や連絡先など）の確認
6. 必要時、薬剤師による持参薬や休止する薬の確認
7. 必要時関連部門に連絡

その後看護師と面談，入院時の不安やご質問にお答えします。
（およそ20分～30分）

現在服用している内服薬の確認には、**「おくすり手帳」**が必要です。入院支援センターご利用時にはご持参ください。

『腫瘍内科』オープン!

「がん薬物療法」の専門医師による診察

京都市立病院は「地域がん診療連携拠点病院」です。予防・診断・治療・緩和までの各領域でのがん診療に積極的に取り組んでいます。

平成28年4月、新たな取組として、がん治療の薬物療法を専門とする**「腫瘍内科」**を立ち上げました。

近年の新しい抗がん剤の開発や副作用に対する治療の進歩により、抗がん剤の管理には専門的な知識が必要とされるようになってきました。

腫瘍内科では、臓器やがん種の枠をこえて、**がん薬物療法の専門医師**が診療にあたります。また、さまざまな専門知識を持ったスタッフとも連携し、患者さんやご家族と相談しながら、手術療法や放射線療法と組み合わせ、より効果的な治療と副作用管理を行います。

腫瘍内科部長
桐島寿彦

セカンドオピニオンも
受け付けています

● 主な疾患

食道がん　胃がん　大腸がん　膵がん　胆道がん
肝がん　甲状腺がん　頭頸部がん　原発不明がん
悪性軟部腫瘍　その他悪性腫瘍全般

外　来 … 毎週月曜日

～病院からのお願い～

受診を希望される場合は、まずかかりつけ医にご相談ください。
腫瘍内科の受診には、紹介状と事前予約が必要です。

～イベント・取組のご案内～　ご参加ください！

参加費無料

健康教室「かがやき」

「健康はつくるもの」です。一人ひとりが健康づくりに取り組み健康に過ごしていただけるように、健康づくりを応援する当院各科講師による健康教室を開催します。

●日　時　毎月第3金曜日　午後2時30分～3時30分
●場　所　北館7階ホール2
●定　員　先着順50名（予約不要）

5月20日（金）
『膵臓がん、胆道がんについて』
6月17日（金）
『ちょっと人には聞きにくい排尿トラブルのお話』

禁煙教室 ～吸う人も吸わない人も知って得するタバコの不思議～

タバコ煙の成分やニコチン依存症のしくみ、タバコによる健康被害、禁煙のコツなど、様々な視点から話をします。禁煙希望者には医師などが具体的なアドバイスを行うほか、その場で当院の禁煙外来を予約することができます。

●日　時　毎月第2金曜日　午後2時～午後3時
●場　所　北館7階ホール2
●対　象　京都市立病院に入院や通院している方に限らず、禁煙に興味のある方ならどなたでも

糖尿病教室

糖尿病は、療養を怠ると数多くの恐ろしい合併症が現れる反面、適切な治療を続けていれば、健康な人と変わることなく生活することができます。糖尿病についての正しい知識を持って、糖尿病と向き合っていきましょう。

●日　時　毎月第3木曜日　午後3時～午後4時
●場　所　北館7階ホール2

5月19日（木）
『食事療養こそ最高の特効薬です』
『運動でこころもからだもすこやかに』
6月16日（木）
『知っておきたい薬の知識 ～飲み薬～』
『日常生活の心得 ～こんな時どうしていますか?』

がん患者・家族のサロン「みぶなの会」

がんで療養中の患者さんとそのご家族の集まりです。患者さん同士で、色々な悩みをお話したり、情報交換ができます。人と話をしたり、話を聞くだけでも、気持ちが軽くなるものです。気軽な気持ちでご参加ください。

●日　時　毎月第3水曜日　午後1時30分～午後3時30分
　　毎月第4水曜日　午前10時～午後3時
●場　所　北館7階サロン
●対　象　がん患者及びその家族

送迎バス時刻表（無料・予約不要）※平日のみ（土日祝・年末年始は運休）

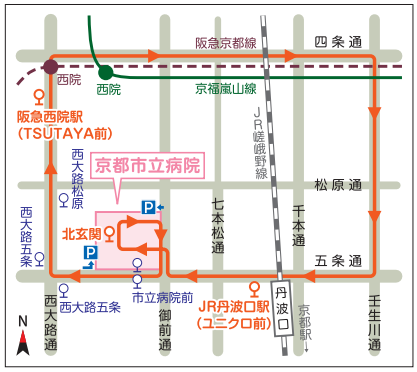
時間	京都市立病院	阪急西院駅（ツタヤ前）	JR丹波口駅（ユニクロ前）
8時	30	35	45
9時	00 30	05 35	15 45
10時	00 30	05 35	15 45
11時	00 30	05 35	15 45
12時			
13時	30	35	45
14時	00 30	05 35	15 45
15時	00 30	05 35	15 45
16時	00 30	05 35	15 45

やすらぎ　2016・春号　2016年4月22日発行

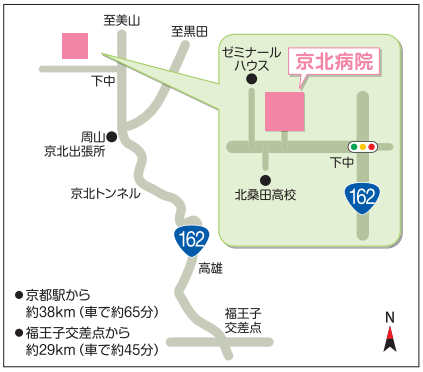
発　行：京都市立病院機構 京都市立病院
〒604-8845
京都市中京区壬生東高田町1番地の2
TEL 075-311-5311　FAX 075-321-6025

京都市立病院

〒604-8845
京都市中京区壬生東高田町1番地の2
TEL 075-311-5311（代）
FAX 075-321-6025（代）
http://www.kch-org.jp/



♀送迎バス バス停
♀京都市バス バス停

京都市立京北病院

〒601-0533
京都市右京区京北下中町鳥谷3番地
TEL 075-854-0221（代）
FAX 075-854-0825（代）
http://www.kch-org.jp/keihoku/